

# 写真

応募点数	132点	招待作品	30点
入賞点数	7点	展示点数	159点
入選点数	122点	◎は移動展出品作品	

(総評) 記録、記憶、アート……。写真はさまざまな顔を持っています。人によって考え方や感じ方、とらえ方が違うのが写真の面白さです。何より写真は自由です。実験的な試みから新たな発見や希望が生まれます。

県美術展は地域の写真文化を支える大切な役割を担っています。県美展の充実はそのまま地域の写真レベルを引き上げることにつながります。また、腕を競い合う場であると同時に勉強の場でもあります。展示されたそれぞれの写真から、何を感じるのでしょうか。作者はどのような思いでシャッターボタンを押したのでしょうか。写真を読み解く力も作品づくりには欠かせません。撮るだけでなく、見て学び、そこから得た気づきを次の作品づくりに生かす。この「撮る・見る・つくる」が一体となったときに新しい作品が生み出されます。

上位入賞作品は作者の意図や思いが伝わってくるものばかりでした。写真は舞台に似ています。素晴らしい場所で、光や主役、脇役がそろった写真はやはり魅力的です。ちょっとした表情や仕草の違いで、印象も大きく変わります。もう少し待てば、もう一歩前に出れば、このもう少しが写真の評価を決めるといっても過言ではありません。せっかくいい場所を見つけているのにその少しが足りないがために入賞には届かなかった惜しい作品も多くありました。「いま・なぜ・ここ」に自分はカメラを持って立っているのか。そこを考えることで作品づくりはさらに深まっていきます。

最後に写真は楽しくなくては意味がありません。カメラを持って出かけ、仲間との写真談義に花を咲かせ、これからも写真を楽しんでほしいと思います。

(文責 坂本 太士／株式会社日本写真『フォトコン』編集部)

知事賞 ◎

ゆく<sup>あき</sup>秋

石<sup>いし</sup>倉<sup>くら</sup>貞<sup>さだ</sup>昭<sup>あき</sup> (松江市)

コロナ禍によって活動が制限される中で、身近な場所に目を向けることの大切さに気づかされたこの2年間でした。それぞれの地域の魅力を撮影し、伝えていくのもそこに暮らす写真家の大切な役割です。決してインパクトのある作品ではありませんが、淡々と流れる日常の様子が丁寧に描かれています。世間が非日常に翻弄されたとしても、そこには昔から変わらない日常がある。秋のやわらかな光が印象的な3枚の写真を通じて、作者の確かなまなざしが感じられます。フォトジェニックな場所で決定的瞬間をねらうのも写真の楽しみの一つですが、作者自身が物語を紡いでいくのも写真表現の醍醐味です。今後の作品にも期待しています。

(文責 坂本 太士／株式会社日本写真『フォトコン』編集部)

金 賞 ③

でんしょう  
伝承

た なか さく お  
田 中 作 夫 (出雲市)

日本の伝統文化には、長い年月を重ね、受け継がれてきた文化や芸能があります。地域には、固有の文化があり、そこに生きる人々の豊かな感受性が文化の根底にあります。

神楽は、日本の神話を題材に独特の哀愁あふれる笛の音、活気あふれる太鼓にあわせて舞う、地域に古くから伝わる伝統芸能です。

この作品は、石見神楽の八調子のリズムに乗った動きや、形がしっかりした躍動感のある作品です。舞手の動作のタイミングが的確に表現されており、構図の完成度も高く、迫力のある作品となっています。

作者の熱意がうまく写真という形に表現された素晴らしい作品です。

おめでとうございます。

(文責 三加茂幸子)

銀 賞 ③

げきとう  
激闘

きの した と き お  
木 下 時 雄 (隠岐の島町)

最近において、隠岐の牛突きは多く発表されるようになりました。

他の県では「闘牛大会」とか云って牛のツノ突き大会が十二カ所位ありますが、特に隠岐の牛突きは横綱牛やら等級が決まっております。

この作品は、従来からの素材として多く見られますが、激しい動作の中で牛の目の表情描写がよく力強さを感じます。

頭部の方のアップよりも、全身像を入れて光の先が出れば更によりよい作品となります。

画角の良い悪いで見る人に印象づけますが、今後は全身像を入れて見る事も考慮して下さい。入賞お目出とうございました。

(文責 川本 貢功)

銀 賞 ③

そうぎょう まい  
早暁の舞

き むら かつ み  
木 村 克 己 (出雲市)

鳥や動物の撮影では光線の状態やシャッターチャンスが作品の良し悪しや鑑賞する人にインパクトを与える大きな要素となります。

この作品は難しい撮影状況で、シャッターチャンスも良く、羽ばたきによってできた水しぶきが逆光に映えて目に飛びこんできます。

二羽のハクチョウが上を向いていて、特に左のハクチョウが斜め上に向いていることによって、上と左の空間が生きています。

また、セピア調の色調がこの作品を印象深くしています。

(文責 杉谷 敏秀)

銅 賞 ⑧

す す み かい がん  
須々海岸

こ しま たくみ  
児 島 巧 (松江市)

コロナ禍にあって、県外や海外への撮影ができない。写真愛好者は、ずいぶんきびしい環境での作品づくりをされていると思います。

今回の風景写真で応募された作品中、最もすぐれた写真です。とても幻想的です。

色も露出も完璧。スローシャッターでの表現がこの作品のミソです。

この写真は、わざわざ遠くへ行かなくても身近なところに被写体はあります。普段見慣れた風景もファインダーを覗くと新しい発見があったりします。作者は相当なベテランで高い技術と素晴らしい感性をお持ちのようです。

手前の岩床の模様が、メインとなる上部の岩へ視線誘導をさせるなど画面構成も逸品です。

「撮らされた写真」が多く見られるなか、「撮った写真」はもちろん、苦勞してやっと「撮れた写真」は、迫力が凄いです。

入賞おめでとうございます。

(文責 小林 茂雄)

銅 賞 ⑧

す こ ま  
少し待って

さ さ き まこと  
佐々木 誠 (江津市)

近寄って来るのを両手を上げ、少し待ってのしぐさがとても愛らしい作品です。

動物写真を擬人化して物語性が非常にうまく表現されています。写真のみでも安らぎを感じさせ、タイトルも写真の内容にピッタリです。構図もしっかりしており、写真の中に見ている人を引き込みます。

すばらしい作品です。今後の活躍を期待しています。

(文責 三次 巧侑)

銅 賞 ⑧

ゆ き げ しょう  
雪華笑

あ ごう ごう へい  
吾 郷 紘 平 (飯南町)

冬の山里で撮られた作品でしょうか。

笑顔いっぱいの表情がとても良く、ヒューマニズムを感じさせる秀作です。

雪景の背景を生かすことで、冬の雪の中で暮す人々の生活や思い、楽しみや喜びまでもこの人物の笑顔から伝えてくれています。写真の原点は農村風景といわれています。山里にある風景は、見る人に感動や生活感を呼び起こすような写真表現の方法もありますので、これからもチャレンジしてください。ご入賞、おめでとうございます。

今後ともご活躍を楽しみに期待しております。

(文責 佐々木 聡)

## 入 選

入選122作品のうち写真部門実行委員会賞として以下全33点を選定した。

- ・優秀賞（3点）
- ・奨励賞（10点）
- ・特選（20点）

（対象作品は備考欄に記す）

	題 名	氏 名	備 考
⑩	寒げいこ	三 宅 亮（益田市）	優秀賞
⑩	湖畔の詩	荒 木 義 人（奥出雲町）	優秀賞
⑩	凍てつく朝	森 山 典 雄（大田市）	優秀賞
⑩	県美のミラー	西 上 一 義（松江市）	奨励賞
⑩	隣のチーコ	焼 杉 正 明（江津市）	奨励賞
⑩	夜明けへの一歩	大 谷 剛史郎（飯南町）	奨励賞
⑩	翔	島 本 陸 男（松江市）	奨励賞
⑩	碧の時	柳 樂 昌 宏（松江市）	奨励賞
⑩	錦秋	内 田 定 廣（奥出雲町）	奨励賞
⑩	捕ったぞ	奥 村 茂（隠岐の島町）	奨励賞
⑩	春の日	若 月 康 男（奥出雲町）	奨励賞
⑩	漁港風景	本 田 研 治（出雲市）	奨励賞
⑩	大蛇の森	石 川 功（鳥取県）	奨励賞
	ティータイム	桑 原 進（松江市）	特選
	背伸び	張 玲 姫（松江市）	特選
	別離	太 田 勤（松江市）	特選
	弾丸	三 島 しげみ（出雲市）	特選
	鷺舞	坂 本 憲 三（松江市）	特選
	神送り	後 藤 孝 司（出雲市）	特選
	氷河フライト	細 田 恵 子（出雲市）	特選
	羽衣	木 村 恭 子（出雲市）	特選
	薄暮の妖花	石 倉 太 介（出雲市）	特選
	朝詣	佐 藤 伸 二（出雲市）	特選
⑩	海鳴り	三 浦 秋 男（益田市）	特選
	敦煌にて	和 泉 一 朗（奥出雲町）	特選
	夕景	糸 原 輝 幸（奥出雲町）	特選
	晩秋	松 崎 敏 江（奥出雲町）	特選
	田植えの頃	安 田 勲（飯南町）	特選
	散歩道	田 中 博 義（安来市）	特選
⑩	愛猫	松 田 桂（大田市）	特選
	夕陽	高 橋 幸 夫（松江市）	特選
	希望の光	石 橋 克 巳（出雲市）	特選
	追憶	平 塚 健 藏（松江市）	特選
	おきなぐさ	糸 原 詩 郎（奥出雲町）	
	宵のころ	牛 尾 吉 郎（奥出雲町）	
	待つよろこび	東 條 直 樹（奥出雲町）	

題 名	氏 名	備 考
垂り雪	景 山 利 治 (雲南市)	
秋風の吹くにつけても	森 脇 孝 公 (松江市)	
秋彩	岩 城 篤 明 (松江市)	
ムーントレイン	赤 坂 俊 一 (安来市)	
夕焼雲の二重奏 (デュエット)	原 浩 (安来市)	
窓辺	管 敏 朗 (出雲市)	
「舞姫」	新 田 康 彦 (出雲市)	
初自撮り	荒 木 総一郎 (鳥取県)	
おねだり	福 原 純 孝 (益田市)	
御里の春	島 川 鐵 雄 (益田市)	
掛戸松島	坂 根 昭 一 (大田市)	
今日も会えたね	梶 明 広 (浜田市)	
巨木憤怒	角 森 俊 一 (出雲市)	
狂欄怒涛	藤 田 昭 平 (江津市)	
神々の海	青 木 三 佳 (松江市)	
願掛け人	山 田 清 子 (松江市)	
静寂の夏	勝 部 幹 雄 (松江市)	
艶	岩 田 毅 (大田市)	
秋のいろどり	藤 原 博 文 (松江市)	
旨そう×2	上 原 徹 (松江市)	
祈願	渡 邊 敏 雄 (松江市)	
鉄師の業	秋 重 学 (鳥取県)	
スパイダーシルク	武 田 清 (雲南市)	
生きる	若 槻 明 郎 (松江市)	
早春	芝 原 本 修 (松江市)	
夕照	鶴 島 里 子 (松江市)	
二人の時間	芦 野 由利子 (隠岐の島町)	
「おめでとう!!」「お陰様で…」	花 谷 勉 (安来市)	
童	伊 藤 以都子 (松江市)	
中海の朝	植 田 勝 (松江市)	
初秋	迫 光 徳 (松江市)	
虹	松 浦 弘 道 (松江市)	
コロナ禍	金 田 範 由 (松江市)	
川遊び	長 瀬 祐 (松江市)	
おもつつあん	山 根 麻友美 (松江市)	
おまいり	佐々木 智 範 (松江市)	
転読	山 根 章 道 (松江市)	
有終の美	塚 本 順 成 (飯南町)	
雪上のランチ	信 藤 一 郎 (飯南町)	
冬の来嶋湖	牧 原 正 (飯南町)	
岩の溪谷	金 津 初日兎 (安来市)	
竹林を貫く	遠 藤 勉 (安来市)	
雨上がり	近 藤 末 美 (安来市)	

題 名	氏 名	備 考
流木	門 脇 玄一郎 (安来市)	
恋模様	藤 井 千 富 (出雲市)	
森のビーナス	岩 谷 順 子 (松江市)	
花見日和	武 田 節 朗 (松江市)	
フォルム	原 憲 治 (出雲市)	
春を待つ	勝 部 美智夫 (出雲市)	
兄弟	田 村 啓 子 (松江市)	
収穫のあと	竹 下 朗 (出雲市)	
白い橋	江 角 好 敏 (出雲市)	
二人の世界	宮 廻 親 基 (松江市)	
もうチョットだよ	川 上 政 光 (出雲市)	
風の造形	品 川 清 一 (出雲市)	
海辺の妖精	坂 本 新 次 (出雲市)	
密	竹 下 敏 広 (出雲市)	
孔雀	内 藤 章 江 (松江市)	
光あふれるカフェテラス	伊 藤 朗 (出雲市)	
朝焼	田 中 康 治 (松江市)	
祭囃子	渡 邊 克 彦 (松江市)	
未だ見ぬ世界またいで先へ行く花火	米 澤 行 雄 (松江市)	
早春賦	藤 原 あや子 (松江市)	
火の鳥	徳 島 義 孝 (雲南市)	
山は眠りへ	森 脇 勇 吉 (安来市)	
生命	小田川 尚 弘 (松江市)	
幽玄	林 悟 (出雲市)	
春の宵	米 田 直 之 (安来市)	
旧車まつり	須 谷 厚 子 (出雲市)	
珍鳥来県～凶鑑に未だ無い～	竹 内 功 (出雲市)	
車窓	立 花 伸 一 (雲南市)	
なに撮ろうかな	堀 江 利 加 (浜田市)	
故郷	吉 田 豊 美 (出雲市)	
イモ掘り記念日	安 田 朝 行 (松江市)	
凍てつく頂稜に挑む	藤 原 明 美 (出雲市)	
水辺の妖精	山 岡 能 成 (出雲市)	
未来への出口	金 崎 操 (出雲市)	
静寂	品 川 辰 朗 (飯南町)	
獅子迷	橘 重 孝 (大田市)	
祭日	松 岡 治 恵 (松江市)	
残月と“舍利木”	周 藤 茂 男 (出雲市)	
ホリデー	福 田 秀 樹 (松江市)	
のり摘み	樋 野 輝 吉 (出雲市)	
木洩れ日の道	福 田 一 壽 (安来市)	
夕日を浴びて	田 中 修 (隠岐の島町)	
港の風景	吉 田 徹 (隠岐の島町)	

# 招待

	題名	氏名	備考
⑩	予感	西尾透	(出雲市)
	寒日	菅野紘	(松江市)
	コロナ禍の集落	岡田文夫	(隠岐の島町)
⑩	夕立	藤原静雄	(雲南市)
⑩	秋色	黒川政治	(松江市)
⑩	秋色の石見海岸	吉崎佳慶	(益田市)
⑩	無常	井上健治	(浜田市)
⑩	ピアス	金築哲	(出雲市)
⑩	時空	青戸繁	(松江市)
⑩	帰着	春日通男	(出雲市)
⑩	少年	佐々木聡	(出雲市)
⑩	少女	川本貢功	(松江市)
⑩	欣喜	小林茂雄	(江津市)
	飛翔	森山徹	(松江市)
⑩	光景	岡幸美	(出雲市)
	ど根性	常松利理	(出雲市)
⑩	静寂	石飛桂子	(出雲市)
	郷里の里	西澤由英	(奥出雲町)
⑩	暁の天空	田中利博	(奥出雲町)
⑩	夏の妖精	渡部久由	(奥出雲町)
	七夕の日	石飛孝	(安来市)
⑩	眼光	西村賢治	(松江市)
	楽しい散歩	太田淳子	(松江市)
⑩	十方拝礼	栴田一男	(松江市)
	波濤	岡一夫	(松江市)
⑩	三姉妹	荒木論吉	(出雲市)
	コロナ過2021年	宮廻功	(松江市)
	冬日三十八景第貳番	土江真弘	(出雲市)
⑩	サヨナラ	盆子原政司	(江津市)
⑩	美しい罨	下川隆直	(松江市)